

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		音声学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		二年次		学期及び曜時限	通年 月曜1限 他	教室名	405教室
担 当 教 員		安齋 有紀	実務経験とその関連資格	島根大学法文学部准教授。フランス語および言語学関連の授業を担当。言語の音声、音響的特徴に関する研究を行っている。 博士(言語学)。2014年4月より言語聴覚士学科で音声学・音響学の授業を担当。			
《授業科目における学習内容》							
音声学・音韻論の基本的知識を通して日本語の発音の特性を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
【教科書】「日本語の発音教室」 くろしお出版							
《授業外における学習方法》							
授業終了時に示す課題を実施しておくこと。 教科書・配布資料を見直し、次回の授業までに必ず復習をすること。							
《履修に当たっての留意点》							
音声学の知識を習得するには実際に発音して感覚をつかむことが大切です。授業中は積極的に声を出し、授業外でも発音の実践をしてください。							
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声学の分野では具体的に何を学ぶのか、通年学習の見通しを立てることができる。			教科書、配布資料	教科書の目次と第1章の冒頭に目を通しておくこと。
		各コマにおける授業予定	音声学とは・ことばの機能				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体構造としての発音器官を知り、発音のメカニズムを理解できる。			教科書、配布資料	教科書・第1回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	発音器官・発音のメカニズム				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	母音の発音方法から5母音の分類基準が理解できる。			教科書、配布資料	第2回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	母音(1):母音の発音と分類基準				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の母音発音時に生じる様々な音声現象が理解できる。			教科書、配布資料	第3回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	母音(2):日本語に特徴的な母音発音時の音声現象				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子音の分類基準、IPAの読み方(記号)が理解できる。			教科書、配布資料	第4回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。

5 回	表 形 式	各コマに おける 授業予定	子音(1):子音の分類基準と調音	教科書、配布資料	題が出された場合は次の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
--------	-------------	---------------------	------------------	----------	--------------------------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	破裂音、摩擦音、破擦音の調音構造が理解できる。	教科書、配布資料	第5回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	子音(2):破裂音、摩擦音、破擦音		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	鼻音、接近音、はじき音の調音構造が理解できる。	教科書、配布資料	第6回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	子音(3):鼻音、接近音、はじき音		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊音素の調音構造が理解できる。	教科書、配布資料	第7回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。発音の実践をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	子音(4):特殊音素(撥音、促音)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	母音、子音の調音を通して日本語の音素体系を総合的に理解できる。	教科書、配布資料	第8回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音素体系		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の基本的な韻律単位である「拍」と発音の関係について理解できる。	教科書、配布資料	教科書第2章の冒頭を読んでおくこと。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	リズム(1)拍とその種類		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語に特徴的な2拍リズム(フット)が理解できる。	教科書、配布資料	教科書・第10回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	リズム(2)フット		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の音節構造を理解し、音節数のカウントができる。	教科書、配布資料	教科書・第11回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	リズム(3)音節構造		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容を総合的に理解し、実践的に問題が解ける。	教科書、配布資料	前期の内容を総合的に復習すること。練習問題の見直しをすること。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ・復習問題①		
第14回	講義・演習形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容を総合的に理解し、実践的に問題が解ける。	教科書、配布資料	前期の内容を総合的に復習すること。練習問題の見直しをすること。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ・復習問題②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期に学習した基本的な知識をテストで応用できる。	教科書、配布資料	前期の内容・練習問題の総合的な復習をすること。

15 回	演習 形式	各コマに おける 授業予定	確認テストと解説	教科書、配布資料	を総合的に復習し、試験で応用できるようにしておくこと。
---------	----------	---------------------	----------	----------	-----------------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声学における「アクセント」の定義や地域別のアクセント分布状況を通して、日本語のアクセントの機能と役割が理解できる。	教科書、配布資料	教科書第3章の冒頭を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	アクセント(1):日本語のアクセントの機能		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	名詞の拍数とアクセント型の関係を理解し、分類できる。	教科書、配布資料	教科書・第16回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	アクセント(2):名詞		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	形容詞のアクセント型を理解し、分類できる。	教科書、配布資料	教科書・第17回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	アクセント(3):形容詞		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	複合語のアクセント型に見られる現象が理解できる。	教科書、配布資料	教科書・第18回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	アクセント(4):複合語		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	動詞の活用形とアクセント型を理解し、分類できる。	教科書、配布資料	教科書・第19回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	アクセント(5):動詞		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	助詞のアクセント型を理解し、分類できる。また、句や文単位でのアクセントの変化が理解できる。	教科書、配布資料	教科書・第20回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	アクセント(6):助詞・句・文		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	アクセントとイントネーションの違いを理解し、イントネーションの機能がわかる。	教科書、配布資料	第16回の「アクセントの機能」を見直し、教科書第4章の冒頭を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	イントネーション(1):イントネーションの機能		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般的なイントネーションの傾向をピッチ曲線から理解できる。	教科書、配布資料	教科書・第22回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること
		各コマにおける授業予定	イントネーション(2):イントネーションの傾向・ピッチ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	発話の焦点(フォーカス)がどこにあるのか、イントネーションから理解できる。	教科書、配布資料	教科書・第23回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること
		各コマにおける授業予定	イントネーション(3):フォーカス		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	助詞の種類・機能とイントネーションの関係が理解できる	教科書、配布資料	教科書・第24回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次の授業までに実施すること
		各コマにおける授業予定	イントネーション(4):助詞		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 26 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	疑問文のイントネーションの傾向が理解できる。	教科書、配布資 料	教科書・第25回の配布 資料を見直し、復習をす ること。課題が出された 場合は次の授業までに 実施すること
		各コマに おける 授業予定	イントネーション(5):疑問詞		
第 27 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	イントネーションと発話の意味構造、統語構造の関係が理解でき る。	教科書、配布資 料	1年次の言語学「統語構 造」を見直しておくこと。 課題が出された場合は 次の授業までに実施 すること
		各コマに おける 授業予定	イントネーション(6):意味構造と統語構造		
第 28 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	文末詞を使用する発話のイントネーションから発話者の意図(態 度)が読み取れる。	教科書、配布資 料	教科書・第27回の配布 資料を見直し、復習をす ること。課題が出された 場合は次の授業までに 実施すること
		各コマに おける 授業予定	イントネーション(7):文末		
第 29 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	後期の学習内容を総合的に理解し、実践的に問題が解ける。	教科書、配布資 料	後期の内容を総合的に 復習すること。練習問題 の見直しをすること。
		各コマに おける 授業予定	後期のまとめ・復習問題		
第 30 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	後期に学習した基本的な知識をテストで応用できる。	教科書、配布資 料	後期の内容・練習問題 を総合的に復習し、試 験で応用できるようにし ておくこと
		各コマに おける 授業予定	確認テストと解説		